

食道内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられる患者さまへ

入院診療計画書

説明年月日 年 月 日

消化管内科 ()病棟 ()号室

患者さま氏名: 病名: 食道腫瘍 症状: なし

入院目的: 手術目的 手術内容: 食道ESD 推定される入院期間: 約6日 特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無

	入院日(/)	手術当日(/)	術後1日目
内服	持参薬の確認をします 抗凝固剤を服用されていた患者様は中止されていますか? 夕食後に胃粘膜保護の内服をしていただきます ネキシウム顆粒(10)・・・1回2包	持参薬を中止します(ただし、主治医の指示により、血圧、心疾患などの薬は、内服していただきます) 治療後、胃粘膜保護の内服をしていただきます アルロイドG・・・1回20ml	胃粘膜保護の内服をしていただきます 10時・15時・20時にアルロイドG・・・1回20ml
点滴		朝8時より、持続点滴をします 治療後、潰瘍治療薬の注射があります	持続点滴です 朝・夕に、潰瘍治療薬の注射があります
処置	体温・血圧・脈拍を1回/日測定します	肺血栓栓塞症予防のため、弾性ストッキングをはいていただきます 体温・血圧・脈拍を4回/日測定します 手術後より、腹痛・吐気・嘔吐・下血がないか観察していきます	体温・血圧・脈拍を3回/日測定します
検査	必要時、採血があります		採血・胃カメラがあります
食事	常食(必要時治療食)	朝から絶食です 午前中の検査の場合朝7時以降 午後の検査の場合は朝11時以降、水分摂取も禁止です	朝から水分が飲めます
排泄		内視鏡室に行く前に排尿をしていただきます 必要時、尿のくたをいれます。	
清潔	入浴できます		全身清拭・洗髪をお手伝いします
安静度	制限はありません	治療後はトイレ時以外、ベッド上安静です	棟内歩行ができます (弾性ストッキングは脱いでください)
説明・指導、その他(リハビリテーション等の計画)	ネームバンド装着 看護師により入院時オリエンテーションがあります 医師から内視鏡的粘膜下層剥離術の説明があります	入れ歯・指輪・時計・眼鏡・コンタクトをはずしてください 術後、手術結果の説明があります	強い腹痛がある時は看護師にすぐお知らせください 便が出たときは、流さずに看護師にお見せください (出血がないか確認いたします)

注1) 診察内容は現時点で考えられるもので、今後検査を進めていくに従って変更する場合があります。その場合は再度説明いたします。

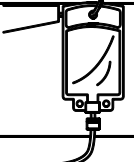
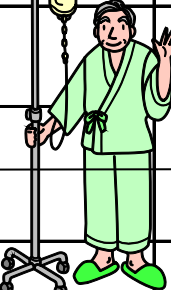
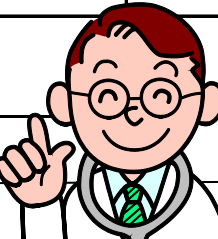
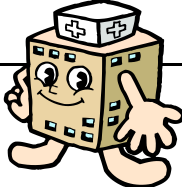
注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。

主治医署名		主治医以外の担当者署名	
上記の通り、治療計画について十分な説明を受けましたので同意します。		年 月	
患者本人署名		親族又は代理人署名	

(患者との続柄 :)

食道内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられる患者さまへ

患者さま氏名：

	術後2日目	術後3日目	術後4日目 退院	退院後の療養上の注意点
内服	胃粘膜保護の内服があります 10時・15時・20時に アルロイドG・・・1回20ml 	朝にネキシウム顆粒(10)・・・1回2包 の内服があります 朝から常用薬の内服 が開始になります		・治療時に出された薬は 毎日、忘れずに飲みましょう ・退院後、1週間は胃の負担に ならないような 消化のよいもの をとりましょう ・辛いもの、ニンニクなどの 刺激物は避けましょう コーヒーなども避けましょう ・次回外来受診まで、 禁酒・禁煙 をしてください
点滴	点滴は1日2本です 朝に胃粘膜保護の注射 があります 			
処置	体温・血圧・脈拍を1日1回 測定します 			
検査				
安静度	院内歩行ができます			・次回外来受診まで、 入浴で湯につかるのは 約15分以内としましょう
食事	夕から5分粥食が 開始になります	昼から全粥食 になります	朝から潰瘍食 になります	・ 急激な腹痛・吐血・下血 (黒っぽい便)など、 気になることがあれば、 早めに受診しましょう
清潔	シャワーができます			
説明	強い腹痛がある時は看護師にすぐお知らせください 便が出たときは、流さずに看護師にお見せください (出血がないか確認いたします)			外来：0798-45-6200 時間外：0798-45-6111

※状況により変更することがあります。ご不明な点があれば、おたずねください。